

挑

軽井沢高等学校
アイスホッケー部
(軽井沢町)

一戦一戦、経験を積んで

東信地区の高校で唯一のアイスホッケーチームである同部は、創部から今年で50年。近年は町内、県内のみならず、県外から入部を希望して入学する生徒も増えてきた。今春は7人の新入部員が加わり、総勢18人の新チームで活動が始まった。

指導にあたるのは、同校の教諭で部の監督を務める桜井智成さんと、実業団でプレーした経験を持つコーチの鈴木勲さん。「この軽井沢風越公園アイスアリーナを使って、通年氷上で練習できるのは強み。あとは試合を数多く経験して、実戦感覚を養わせたい。近くに練習試合ができる相手がいると、さらに理想的ですね」と声をそろえる。

4月の全国高等学校選抜アイスホッケー県予選大会では、ライバルの長野工業高校を破り、8月に北海道で開かれる全国大会の出場権を手にした。キャプテンの土屋豪斗君は、「技術面でもメンタル面でも昨年のチームに及ばないので、底上げが必要。練習に力を入れ、全国大会では一つでも多く試合に勝ちたい」と力強く話す。

さらにその先にある来年1月のインターハイを大きな目標に、今はひたむきに基礎練習に励み、個々のスキルアップを図る日々。これから実戦を重ね、大きく成長していくチームに期待したい。

